

## 公の施設の指定管理者管理運営状況評価結果

1. 基本情報

(1)管理施設

施設名	ころころ学童保育クラブ		
施設概要	【所在地】 町田市玉川学園3-35-45(ころころ児童館内) 【開設年月】 2003年 【開館日時】 月曜日～土曜日/8時～19時 【建物面積】 延床面積439.2㎡ 【建物構造】 鉄筋コンクリート造(一部木造)1階 【児童数】 68名(2019年4月1日時点)		
設置目的	小学校に就学している児童で家庭において、保護者の適切な保護を受けられない者に対して組織的に指導を行い、もって学童の事故防止と心身の健全な育成を図るため		
設置根拠法令・条例	児童福祉法、町田市学童保育クラブ設置条例		
所管部課	子ども生活部児童青少年課	問合せ先	042-724-2182
施設ホームページURL			

(2)指定管理者

指定管理者名	特定非営利活動法人 子育て・子育て支援タグポート	法人番号	6012305001229
指定管理者所在地	町田市玉川学園2-3-37		
指定期間	2020年4月1日～2025年3月31日		
指定管理業務の内容	(1)クラブに入会した学童の保育に関する業務…余暇・生活・学習・安全指導、おやつ等の提供等 (2)クラブに入会した学童の特別保育に関する業務…特別保育の利用承認、賦課及び徴収等 (3)管理施設及び設備の維持管理に関する業務…施設の保守・管理、修繕等 (4)前各号に規定したもののほか、市長が指定した業務…市への報告業務、利用者アンケートの実施等		
利用料金制	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 併用 <input type="checkbox"/> 非該当	選考方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募

2. 選定時の提案内容

提案内容(目標値など)	達成時期	達成状況
異年齢保育による交友関係の広がり	2025年3月	遊びやおやつ・行事等を通じての学童内の広がりだけでなく、児童館来館児童とも交友関係が広がった
父母会との共催行事開催による相互理解	2025年3月	共催行事の企画・準備・実施により相互理解を深められ、保育理解と信頼につながった
卒会に向けての身辺自立と自律	2025年3月	持ち物・時間の管理、社会のルールの確認を含め怪我や事故に合わないよう日常生活の中で繰り返し話し定着させた

3. 昨年度の課題

内容	【利用者満足度調査回収率】 回収率は75%を下回っており、利用者の意見聴取に課題があった。次年度以降の改善を指導した。
----	--

4. 総合評価及び所見

総合評価	<b>A</b>	【総合評価基準】 A:良好である B:要求水準達成 C:良好ではない D:大きな課題がある S:Aのうち実施内容が特に優れている
所管課総合所見(特筆すべき点(Sの場合必須)、提案内容の実現状況、昨年度の課題への対応等)	利用者満足度調査において、全体満足度は3年連続100%を達成しており、質の高いサービスを提供していると判断できる。児童館併設という特徴を活かした事業を実施したことや、保護者との情報共有を徹底したことが要因としてあげられる。昨年度の課題であった回収率については、改善し75%を上回っており、利用者の意見聴取に取り組んだと判断できる。また、職員の人材育成や研修受講支援について、一定以上取り組んでいたことは評価できる。その他の業務履行状況・財務状況は要求水準を満たす運営を行っており、全体的に良好な運営を行っているとして総合評価を「A」とした。	
指定管理者所見(補足説明・アピール・未達成項目の改善策等)	1、児童館に併設されている特徴を生かしている。 ・児童館事業への日常的参加、児童館来館の友だちと一緒に遊べる ・児童館職員も加わり、より広い視点から保育ができています ・卒会児が引き続き児童館に来ることにより切れ目のない社会教育が出来ている 2、父母会との協力体制がしっかり出来上がっている ・お楽しみ会を共催、協働することで、保育の理念を共有している ・保護者会、お便りに加え希望者に個人面談を行ったことで、細かく情報を伝えると共に、保護者の声を吸い上げ保育に活かしている 3、地域から立ち上がったNPO法人の特性を活かし、地域との協力体制がしっかり出来上がっている 4、館長が町五小スクールボード理事であることに加え、2015年度よりぶちころ(分室)が町五小に開設されたため、学校との情報交換がスムーズである 5、今年度からころころ(本室)とぶちころ(分室)に分かれての縦割り保育となったが、保護者会と相談し、全体にしっかり説明したことにより、混乱なく変わらず大規模保育が行われている ・長期休暇時など積極的に本・分室交流の時間を設けることで、保育にメリハリができ子ども達も楽しんでる。	

【評価対象年度 2019年度】

5. サービスの質に関する評価

【利用者アンケート調査】

調査概要	【調査期間】2019年9月 【登録児童数】62名(調査月1日時点) 【配布枚数】62枚 【回答数】51枚 【回収率】82.3% 【調査方法】連絡袋に入れ配布・回収
------	---

指標1	評価基準	目標	結果	評価	
利用者満足度 (全体満足度)	(全体満足度の項目において、満足・やや満足とつけた保護者割合) A:90%以上 B:75%以上～90%未満 C:75%未満	80%	100.0%	A	
指定期間内における実績(単位:%)					
年度	2015	2016	2017	2018	2019
目標値	80	80	80	80	80
実績値	96.1	94.6	100.0	100.0	100.0

指標2	評価基準	目標	結果	評価	
利用者満足度 (サービス・施設管理面)	(サービス、施設管理面等の6項目において、満足・やや満足とつけた保護者割合の平均) A:90%以上 B:75%以上～90%未満 C:75%未満	80%	98.3%	A	
指定期間内における実績(単位:%)					
年度	2015	2016	2017	2018	2019
目標値	80	80	80	80	80
実績値	93.1	96.0	94.6	98.7	98.3

指標3	評価基準	目標	結果	評価	
研修参加回数	(常勤職員の市及びその他関係機関主催研修会回数の平均) A:10回以上 B:2回以上10回未満 C:2回未満	6回	7.8回	B	
指定期間内における実績(単位:回)					
年度	2015	2016	2017	2018	2019
目標値	2	2	10	9	6
実績値		10	9	6.3	7.8

サービスの質に関する総合評価	所管課所見
A	利用者満足度において100%を達成しており、非常に質の高いサービスを提供していると判断でき、次年度以降も同様な結果が望まれる。アンケート回収率は75%を超えており、利用者の意見の聴取に取り組んでいたと判断できる。研修の平均受講回数は5回を超えており、職員の能力向上への取り組みは要求水準以上であった。職員の資質向上については、一定以上取り組んでいると判断できる。

【サービスの質に関する評価基準】 A:良好である B:要求水準達成 C:良好ではない

【評価対象年度 2019年度】

6. 業務履行状況の確認

大項目	小項目	要求水準	履行状況	適否
平等利用の確保	保護者・利用者への平等な取扱い	保護者・利用者への平等な取扱いの実施	入会説明会の実施・入会のしおりを配布していた。	適
	保護者への情報提供	お便りや広報誌の配布又はHP・メール配信等での情報発信	お便りの配布、メール配信等を実施していた。	適
施設の運営方針・管理	運営方針・指導計画・年間指導計画に基づく保育の実施	事業計画に基づく事業の実施	実施報告書により、事業を適切に実施していることが確認できた。	適
	市への報告書類の提出	例月、学期の報告書類の提出	期日どおり適切に提出されていた。	適
	施設の点検・保全	業務仕様書に定める頻度での点検実施	チェック表等により、適切に点検を実施していることが確認できた。	適
情報公開・個人情報保護	個人情報保護体制の整備	個人情報保護体制の整備	個人情報保護に関する規定が整備されていた。	適
	書類保管	個人情報の適切な管理(施錠された書棚での保存等)	個人情報が記載された書類が適切に保管されていた。	適
	情報公開体制の整備	情報公開体制の整備	情報公開に関する規定が整備されていた。	適
要望対応	苦情対応体制の整備	苦情対応体制の構築	第三者委員が設置され、苦情対応の体制が構築されていた。	適
	苦情窓口の周知	意見・苦情を受け付ける窓口の周知、意見箱の設置等	苦情受付窓口が周知され、意見箱が設置されていた。	適
危機管理	緊急時・災害時に備えた体制の整備	緊急時・災害時対応体制の整備	緊急時・災害時対応手順が整備されていた。	適
	避難訓練の実施	火災、地震、防犯に関する訓練を年2回以上、交通安全に関する訓練を年1回以上実施。	火災、地震、防犯に関する訓練を年2回以上、交通安全に関する訓練を年1回以上実施していた。	適
	子どもの病気や事故に対する備え	病気や事故に対する対応手順の整備	病気や事故に対する対応手順が整備されていた。	適
人的安定性	職員の適切な配置	業務仕様書に基づく配置	適切に職員を配置していた。	適
	職員研修の実施	年2回以上の職員研修の受講	年2回以上、職員研修を受講していた。	適
管理経費の縮減	計画的な執行	管理経費の適切な執行	関係経費の適切な執行に取り組んでいた。	適
	管理運営経費の縮減	管理運営経費の削減又は取組み	管理運営経費の削減に取り組んでいた。	適
地元貢献	地元への貢献	地元での社会活動等への参加	地元団体と連携した行事等を実施していた。	適
	市民雇用及び市内業者からの調達	町田市民の雇用又は市内業者からの調達	市民雇用、市内業者の利用に配慮していた。	適

業務履行状況の確認結果(適否)	所管課所見
適	要求水準を満たしていることを、各種根拠資料、事業報告書、育成日誌、現地調査、ヒアリングにて確認した。

【評価対象年度 2019年度】

7. 財務・収支状況の確認

(1) 指定管理事業

単位:千円

項目	年度	2015		2016		2017		2018		2019		
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算	
収入	指定管理料	16,260	16,203	14,814	14,787	14,967	15,667	17,228	16,876	16,507	16,456	
	特別育成料	250	462	250	391	250	552	250	471	250	576	
	雑収入	0	0	0	0	0	70	0	0	0	0	
	寄付等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	16,510	16,665	15,064	15,178	15,217	16,289	17,478	17,347	16,757	17,032	
支出	人件費	15,376	15,868	13,804	15,669	14,005	13,966	16,786	13,498	15,777	13,935	
	管理費	54	0	82	0	64	0	68	0	82	0	
	運営費	600	492	648	464	618	428	624	359	662	200	
	精算する経費	0	0	0	0	0	0	0	1,656	228	28	
	間接経費	480	0	530	0	530	0	0	0	8	8	
	計	16,510	16,360	15,064	16,133	15,217	14,394	17,478	15,513	16,757	14,171	
総計(収入-支出)	0	305	0	-955	0	1,895	0	1,834	0	2,861		

(2) 指定管理者本部 ※共同事業体の場合、原則として代表企業を記載する。

単位:%

年度	2015	2016	2017	2018	2019
経常利益率	3.9	3.2	3.2	6.4	8.7
負債比率	68.4	60.8	47.4	45.6	31.7

【経常利益率(%)】経常利益 / 売上高 × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

【負債比率(%)】負債(他人資本) / 資本(自己資本) × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

財務状況に関する確認結果(適否)	所管課所見
適	決算書により、指定管理業務に関わる経費については黒字となっており、安定した運営を行っていることが確認できた。 また、法人の経常利益率、負債比率は適正な値であった。